

はじめに ..... 002

**序章 「戦場」と「決戦」** 009  
—— 歴史を左右する「決断」の場

**第Ⅰ章 古代の戦場** 017  
—— 歴史が始まるとき、戦争も始まる

- 1. 古代の戦闘技術 ..... 018  
メギッド(前1457) 詳細に記録された初の戦争 ..... 020
- 2. 諸兵科連合の出現 ..... 025  
カンナエ(前216) 古代世界で最高峰の芸術的戦闘 ..... 027
- 3. 攻城戦——都市と城壁をいかに破るか ..... 037  
アレシア(前52) ローマ式攻城技術の真骨頂 ..... 038
- 4. 海戦——戦場は水上へ ..... 046  
アイゴスポタモイ(前405) 海軍大国アテナイの凋落 ..... 047

**第Ⅱ章 中世の戦場** 055  
—— 馬から火器へ

- 1. イスラーム勢力の大攻勢——世界を席卷した新興勢力 ..... 056  
カーディシーヤ(636) 中東の勢力図を一変させた戦場 ..... 058

2. 騎士の時代——地中海に轟く「騎馬衝突撃」	063
チヴィターテ(1053) 中世騎馬戦力の雄、ノルマン騎士	064
3. モンゴル——世界を制覇した騎馬民族	072
襄陽・樊城(1268～73) 騎馬の限界を突破したとき	074
4. 歩兵の復活——火器の黎明と歩兵戦術	080
ラウベン(1339) 軍事革新と国制整備	082

### 第Ⅲ章

## 近世の戦場

091

——火器の普及と過渡期の戦争

1. 近代戦闘の雛型、「槍と銃」戦術	092
バヴィア(1525) 近代戦争の黎明	094
2. 東アジアの再編——元末明初の戦乱	099
鄱陽湖(1363) 水上を覆う火炎の地獄絵図	100
3. 清朝の興隆——内陸アジアの覇権抗争	104
ジョン・モド(1696) 騎馬遊牧民の斜陽	105
4. 植民地戦争——戦場が世界へ広がる	110
ケベック(1759)	
イギリスの北米支配を決した、大胆にして繊細な作戦	112

### 第Ⅳ章

## 近代の戦場

119

——戦争の近代化がもたらしたもの

1. 戦争の「近代化」——軍組織にもたらされた革新	120
アウステルリッツ(1805) ナポレオン戦術の最高峰	121

2. 戦争の次なる「近代化」—— 焦土戦と参謀本部	129
ナッシュヴィル(1864) 南北戦争の転換点と焦土戦	130
ケーニヒグレーツ(1866) 意思決定と分進合撃の勝利	140
3. 帝国主義戦争—— 列強に抗う諸勢力	148
呉淞(1842) アヘン戦争の終盤で	149
イサンドルワナ(1879) 新式武装のイギリス軍の苦闘	154

## 第V章 現代の戦場 161

—— 世界大戦と戦争の行く末

1. 第一次世界大戦—— 後戻りのできない未曾有の大戦争	162
ガリポリ戦役(チャナッカレ、1915～16)	
チャナク・バイールの攻防	164
ヴェルダン(1916) 逃げ場のない戦い	171
2. 第二次世界大戦	181
スターリングラード(1942～43) 近代史に稀に見る接近戦	182
硫黄島(1945) 海兵隊史上で最も高い代償	188
3. 世界大戦後—— 次世代の戦争の在り方を模索して	197
テト攻勢(1968) ベトナム戦争の転換、大規模攻勢	197
湾岸戦争(1991) 悪夢の払拭?	204
キウ(2022) 従来の戦争と無人戦争の可能性	211
おわりに	222